**令和3年度大阪府三島医療・病床懇話会 議事概要**

日　　　時 ：令和４年１月１７日（月）午後２時から午後３時３５分

開催場所 ：大阪府茨木保健所　２階講堂　（Web開催）

出席委員 ：１３名

　　　根尾委員、中村委員、野村委員、原山委員、木野委員、上野委員、山内委員、福島委員、石田委員、栗山委員、古川委員、内藤委員、川隅委員

**■議題１**令和３年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料１】令和３年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料５】二次医療圏における各医療機関の診療実態

【資料５（別添）】三島二次医療圏における各医療機関の診療実態

【参考資料１】過剰な病床の状況

【参考資料２】医療法上の過剰な病床の状況

【参考資料３】地域医療構想に関する各種データのHP公表について

【参考資料４】重点支援区域について

【参考資料５】病床機能の再編支援事業について（申請病院一覧）

【参考資料６】医師の働き方改革について

【参考資料７】小児医療提供体制の検討について

**■議題２**令和３年度三島二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況

資料に基づき、茨木保健所から説明

【資料２】 令和３年度三島二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

**■議題３**令和３年度三島二次医療圏における各病院の今後の方向

資料に基づき、茨木保健所から説明した後、過剰病床への転換を予定している東和会いばらき病院から今後の方向性について説明

【資料３】令和３年度病院プラン各医療機関別一覧

【資料４】令和３年度三島二次医療圏病院連絡会結果（概要）

【資料６】非稼働病床の現況について

（意見・質問等）

【東和会いばらき病院の病床転換について】

〇大阪アプローチでは、将来のめざすべき病床機能を割合で説明してきたが、今回も東和会いばらき病院の病院プランについて過剰病床は病床数で議論することに違和感がある。

○三島二次医療圏は、府内でも4機能への移行がスムーズに行われてきたが、本日の大阪アプローチと過剰病床に関する大阪府の説明では理解が得難い。

○旧日翔会病院は、慢性期であり、譲渡後も機能は変わらないとの認識であった。

○地域医療構想の趣旨を踏まえ、病床機能は各病院が自主的に考えるものだが、地域での理解を深め検討することが重要である。

〇東和会いばらき病院は、慢性期43床を2025年に向けて急性期に転換を希望し、現在の障害者病床13対1からの変更を考えているようだが、急性期に転換した後、高槻市への移転を検討しているのであれば、地域の現状も考慮して協議すべきである。

○転換内容等について病院へ確認し、改めて各委員からの意見集約をお願いしたい。

**■議題４　地域医療への協力に関する意向書の提出状況**

資料に基づき、茨木保健所から説明

【資料７】地域医療への協力に関する意向書提出状況（診療所新規開設者）

【資料８】地域医療への協力に関する意向書提出状況（医療機器新規購入・更新者）

**■議題５**　三島二次医療圏における第7次医療計画の中間評価

資料に基づき、茨木保健所から説明

【資料９】第７次大阪府医療計画 中間評価 三島二次医療圏